



# 末吉小だより

横浜市立末吉小学校  
学校だより

令和3年 9月号



## オリパラとピクトグラム

学校長 本庄 則子



令和3年の夏も暑い日々が続きました。9月に入ると暑さが少しずつ和らいでくるという天気予報を聞き、少しほっとしています。

予定では8月27日から元気な子どもたちの声が末吉小学校にも戻ってくるはずでしたが、ご存じの通り8月は臨時休業、9月からは分散登校と段階的に教育活動を再開することになりました。感染症の状況を予測できなかったとはいえ、突然の休業や分散登校のお知らせに混乱したご家庭も多かったと思います。メール配信やホームページでの連絡、ロイロノートでの健康観察等、ご協力いただきありがとうございます。特に緊急事態宣言中は制限の多い教育活動になり、今後も予定の変更等ご連絡することが多くなると考えられますのでよろしくお願いいたします。

今回のような臨時休業や学級閉鎖等に備え、末吉小学校では9月2日、3日より学校に配備されたiPad（アイパッド）の持ち帰りを開始します。今回の分散登校の間はご家庭で活用し、インターネットにつながるかどうかなどの確認をします。配布するお知らせをご覧ください。iPadを含むタブレット端末はこれからの学習に欠かせない授業ツールになるのでしょうか。文房具と同じように子どもたちが使いこなすようになるのかな、と時代の流れを感じています。

さて、今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催された年でもありました。

オリンピック開会式の動く「ピクトグラム（絵文字）」を見て、思い出したことがあります。20年以上前、国語の教科書に掲載されていた「ユニバーサルデザイン」の教材をきっかけに子どもたちと実際にまちに出て学習をしたときのことです。子どもたちは、はじめはバリアフリー（高齢者や障害者が生活していくうえで障害になっているものを取り除くこと）に目が行き、段差の解消や車いす用のトイレ、点字ブロック等を調べていました。そのうち、ピクトグラムで表示した非常口や自動販売機の工夫などにも目を向けはじめました。まとめでは、年齢や背の高さ障害の有無などにかかわらず、すべての人にやさしい工夫がユニバーサルデザインであること、これからの世界はユニバーサルデザインが当たり前になってくるとことなどを実感できた様子がうかがえました。学校で使えるピクトグラムを作成し、表示したグループもありました。子どもたちの見方・考え方の深まりを感じられた学習となりました。

たとえ実際に観戦できなくとも、せっかく日本で開かれたオリパラ。現在開かれているパラリンピックでは、競技の内容やルールを知れば知るほどなぜそのようになっているのか工夫をしているのかが分かり、興味をもって観戦することができます。子どもたちが、このオリパラから今までとは異なる何かを感じたり、思ったり、考えたりしてくれることを願っています。



パラリンピックトライアスロンのピクトグラム